

## 計画策定に向けた基礎調査の実施方針（案）

※本資料では、白井市障害者計画を「者計画」、白井市障害福祉計画・障害児福祉計画を「福祉計画」と略記します。

## I 調査目的

- (1) 者計画の基本目標を実現するため取り組むべき課題を明らかにする。
- (2) 福祉計画の策定に当たり、サービス利用量推移だけでは把握できないニーズ変化等を読み取る。

## ※ 課題の捉え方

（者計画・福祉計画の「目標像」）

『障がいのある人もない人も人格と個性が尊重され、ともに生き、ともに参加する地域づくり』

⇒ 白井市で生活していくうえで、

A 障がいの種類にかかわらず、障がいのある人に広く共有される課題を把握。

B 特定の障がいのある人に向けて、特に取組が必要となる課題を把握。

## II 調査の枠組み

## 1 アンケート調査

## (1) 調査対象・内容

- 障がい当事者（各障がい者手帳所持者の全数）と、障害者手帳を所持しない市民（無作為抽出）を対象とする。
  - ※ 対象者概数：身体障がい者・児 約 1,600 人／知的障がい者・児 約 400 人／精神障がい者・児 約 400 人／手帳を所持しない市民 約 900 人（合計約 3,300 人）
- 障がい当事者への質問は、上記 I の A、B を踏まえた分析を行えるよう、障がい種類によって質問項目を大きく変えないこととする。
  - ただし、特定の障がいについてのみ必要となる一部の質問や様式上の配慮等のため、調査票は障がい種類ごと（身体／知的／精神／手帳を所持しない市民）に作成する。
  - ※ 難病患者は、県のリストが利用できないため独立した調査票は作成しないが、一定の結果分析ができるよう、各調査票において難病認定の有無、病名等についての質問を設定。
- 調査目的 (1) に係る質問は、障がい当事者、手帳を所持しない市民ともに、者計画の基本目標に沿って設定する。
  - 調査目的 (2) に係る福祉計画についての質問は、当事者のみを対象とする。

## ※対象者ごとの質問分野

対象者	調査目的 (1)			調査目的 (2)
	障がい者計画の基本目標			
	地域での自立生活への支援の推進	社会参加の支援・促進	快適で人にやさしいまちづくりの推進	障がい福祉サービス・障がい児通所支援へのニーズ
障がい当事者 (身体・知的・精神)	○	○	○	○
手帳を所持しない市民	○	○	○	×

- 個々の質問は、本委員会での審議のほか、現行計画の達成状況、国・県等の施策、最近の社会動向、前回調査の質問項目等を踏まえ、専門調査機関の意見を加味して作成する。

※ 障がい福祉の制度、用語、動向等について特に高い知識や関心を有しない人からも実感のある回答が得られるよう、回答者自身の生活における困りごと等、率直な心情や考えを聞ける質問を主体とするよう考慮する。

## (2) 調査方法

- 郵送により実施（対象者に調査票と返信用封筒を送付）。
- 本人の回答が難しい場合は、介護者等の代筆を可とする。ただし、介護者等がない方や、介護者等に回答内容を知られたくない場合などを考慮し、本人の希望により、電話やEメール等を用いた回答も可能とする。
- 調査票の様子は、過去に行った調査に準じ、A4版単色、表紙含め16ページ程度とする。また、回答者が可能な限り容易に回答できるよう、用語、用字、フォント等に配慮する。なお、知的障がい者用調査票にはルビを付す。

## (3) 調査予定時期

令和元年12月～令和2年1月

## (4) 集計・考察

調査終了後速やかに集計を行い、調査目的・観点を踏まえた考察を行う。

## 2 関係団体等ヒアリング調査

### (1) 調査対象・内容

- 生活・介護・支援等の状況やご意見を直接伺い、アンケート調査では把握が難しい定性的な情報を取得する。
- 対象は、市内の障がい者関係団体及び指定相談支援事業者とする。

※ 参考：前回（H29.4）実施時の対象団体等

白井市心身障害児者父母の会／白井市視覚障害者白井あゆみの会／しらゆりの会／障害児・者と家族の会「つみき」／いちごの会／白井市聴覚障害者協会（友の会）／白井市身体障害者友の会「にこにこ」／アサンテ（特定非営利活動法人ぼれぼれ・ちば）／座ぐり（社会福祉法人フラット）

### (2) 調査方法

- 対象団体等ごとに日時を設定し個別に実施。
- 事前にご記入いただいた調査票に沿って、市職員又は補助者が意見や見解を聞き取る。

### (3) 調査予定時期

令和2年2月～4月

### (4) 取りまとめ

調査終了後速やかに、対象団体等ごとに要点を取りまとめる。

## III 調査結果の報告、公表

両調査の結果は、令和2年度第1回委員会において報告し、承認をいただいた後、報告書として取りまとめるとともに、市ホームページ等で公表する。

## IV (参考) 近年実施したアンケートの質問項目

※ 市が最近実施したアンケート調査としては、平成 26 年度に者計画策定に向けて行ったものと、平成 28 年度に福祉計画策定に向けて行ったものの 2 回がありますが、平成 28 年度の障がい当事者向け調査票は福祉計画に特化した内容であるため、本欄では、障がい当事者向けは平成 26 年度実施分、手帳を所持しない市民向けは平成 28 年度実施分を掲載します。

### 1 身体障がい者 (H26 実施)

- 問 1 記入者  
＜本人属性＞  
問 2 年齢  
問 3 性別  
問 4 居住地区  
問 5 手帳等級  
問 6 身体障がい種類  
問 7 知的・精神重複の有無  
問 8 障がい発生時期  
問 9 要介護、難病、発達障がい、高次脳機能障がいの有無  
問 10 医療ケア  
＜生活＞  
問 11 住居  
問 12 家族状況  
問 13 収入源  
問 14 住居改造  
問 15 生活上の困りごと  
＜介助の状況＞  
問 16 介助の必要度  
問 16-1 介助者の続柄  
問 16-2 介助者の年齢  
問 16-3 介助を行うときの困りごと  
問 16-4 介助を受けるときの問題  
問 17 補装具・日常生活用具の使用有無  
問 18 補装具・日常生活用具への希望  
＜福祉サービス＞  
問 19 福祉サービスについての困りごと  
＜情報収集・相談＞  
問 20 情報収集や相談についての困りごと  
＜日中の過ごし方＞  
問 21 平日昼間の過ごし方  
問 21-1 通園・通学等の困りごと  
問 21-2 学校卒業後の予定進路  
問 21-3 就労のきっかけ  
問 21-4 就労上の不安不満  
問 22 将来希望する生活  
問 23 希望する生活に向けての問題点

- ＜外出・活動＞  
問 24 外出時の交通手段  
問 25 外出時の困りごと  
問 26 趣味、学習、スポーツ等の困りごと  
＜コミュニケーション＞  
問 27 (視覚障がい) 情報収集方法  
問 28 (聴覚・言語障がい等) 情報収集、意思疎通方法  
＜災害対策＞  
問 29 災害時避難の援助の要否  
問 29-1 避難時の援助者の有無  
問 30 災害に備えて必要なこと  
＜障がい者施策全般＞  
問 31 差別的扱いを受けた経験の有無  
問 32 成年後見制度の認知  
問 33 成年後見制度の利用意向  
問 34 市が力を入れていくべき施策  
問 35 その他意見・要望

### 2 知的障がい者 (H26 実施)

- 問 1 記入者  
＜本人属性＞  
問 2 年齢  
問 3 性別  
問 4 居住地区  
問 5 手帳等級  
問 6 身体・精神重複の有無  
問 7 要介護、難病、発達障がい、高次脳機能障がいの有無  
＜生活＞  
問 8 住居  
問 9 家族状況  
問 10 収入源  
問 11 生活上の困りごと  
問 12 支援の必要度  
問 12-1 支援者の続柄  
問 12-2 支援者の年齢  
問 12-3 支援を行うときの困りごと  
問 12-4 支援を受けるときの問題  
＜福祉サービス＞  
問 13 福祉サービスについての困りごと  
＜情報収集・相談＞  
問 14 情報収集や相談についての困りごと  
＜日中の過ごし方＞  
問 15 平日昼間の過ごし方  
問 15-1 通園・通学等の困りごと  
問 15-2 学校卒業後の予定進路  
問 15-3 就労のきっかけ

- 問 15-4 就労上の不安不満
- 問 16 将来希望する生活
- 問 17 希望する生活に向けての問題点  
＜外出・活動＞
- 問 18 外出時の困りごと
- 問 19 趣味、学習、スポーツ等の困りごと  
＜災害対策＞
- 問 20 災害時避難の援助の要否
- 問 20-1 避難時の援助者の有無
- 問 21 災害に備えて必要なこと  
＜障がい者施策全般＞
- 問 22 相互理解、共生のため必要なこと
- 問 23 成年後見制度の認知
- 問 24 成年後見制度の利用意向
- 問 25 差別的扱いを受けた経験の有無
- 問 26 市が力を入れていくべき施策
- 問 27 その他意見・要望

### 3 精神障がい者（H26 実施）

- 問 1 記入者  
＜本人属性＞
- 問 2 年齢
- 問 3 性別
- 問 4 居住地区
- 問 5 手帳等級
- 問 6 精神障がい種類
- 問 7 初診時期
- 問 8 自立支援医療の利用有無
- 問 9 身体・知的重複の有無
- 問 10 要介護、難病、発達障がい、高次脳機能障がいの有無  
＜生活＞
- 問 11 住居
- 問 12 家族状況
- 問 13 収入源
- 問 14 生活上の困りごと  
＜福祉サービス＞
- 問 15 福祉サービスについての困りごと
- 問 16 あってほしいサービス  
＜差別等＞
- 問 17 差別的扱いを受けた経験の有無  
＜支援の状況＞
- 問 18 支援の必要度
- 問 18-1 支援者の続柄
- 問 18-2 支援者の年齢
- 問 18-3 支援を行うときの困りごと
- 問 18-4 支援を受けるときの問題

- ＜日中の過ごし方＞
- 問 19 平日昼間の過ごし方
- 問 19-1 通園・通学等の困りごと
- 問 19-2 就労のきっかけ
- 問 19-3 就労上の不安不満
- 問 19-4 一般就労への移行に必要な支援
- 問 19-5 日中活動の場に出ない理由
- 問 20 将来希望する生活
- 問 21 希望する生活に向けての問題点  
＜外出・活動＞
- 問 22 外出時の困りごと
- 問 23 趣味、学習、スポーツ等の困りごと  
＜災害対策＞
- 問 24 災害時避難の援助の要否
- 問 24-1 避難時の援助者の有無
- 問 25 災害に備えて必要なこと  
＜障がい者施策全般＞
- 問 26 成年後見制度の認知
- 問 27 成年後見制度の利用意向
- 問 28 市が力を入れていくべき施策
- 問 29 その他意見・要望

### 4 手帳を所持しない市民（H28 実施）

- 問 1 年齢
- 問 2 性別
- 問 3 職業
- 問 4 居住地区
- 問 5 白井市居住歴  
＜交流等＞
- 問 6 障がい者との交流歴
- 問 7 障がいについての学習歴
- 問 8 困っている障がい者に対する行動
- 問 9 障がい福祉に足りないもの
- 問 10 「合理的配慮」への認知
- 問 11 「合理的配慮」への考え
- 問 12 地域社会における差別・偏見の有無
- 問 13 障がい者への社会の理解の深まり
- 問 14 障がい者の就労推進に必要なこと
- 問 15 相互理解・共生社会の実現に必要なこと  
＜まちづくり＞
- 問 16 者計画・福祉計画の認知
- 問 17 障がい福祉に係るキーワードの認知
- 問 18 障がいに係る基礎的知識
- 問 19 特に必要なバリアフリー
- 問 20 市が力を入れていくべき施策
- 問 21 その他意見・要望